

令和4年度 木材利用提案コンクール 受賞者一覧

賞	作品番号	作品タイトル	応募者氏名	審査委員会での主な意見等	学校名
最優秀賞	21	共存する拠	佐藤 海翔	通常鉄骨やRC等で表現するような曲面をうまく木の柔らかさと呼応させた作品である。 平面図も細かく記載されており、木が作り出す気持ちよい空間がしっかりと表現されている。 構造物として本当に建つのか考えた際に、模型で具体的な空間の表現があったことが評価された。 木材を利用することを考える時、構造物だけでなく、デザインや広がりなども大事になるが、よく捉えられており、話を読み込んでいくと面白かった。	秋田県立大学
優秀賞	2	製材の森	小田川 暉	CGが非常に美しく表現されており、このような環境ができたら気持ちよさうなという意見が多かった。 具体的な配置図や、構造物として本当に建つのかなど、表現が具体化を増していけば、評価はもっと高くなると思う。	秋田県立大学
優秀賞	23	囲炉の山並みは生きる	久保木 康生	平面図、屋根組等うまく表現されており、建築としても評価が高かった。 作品がイラストチックになっており、魅力がうまく現れていなかったため、右下の平面図がもう少し押し出されて表現されていれば、もう少し評価が上がったと思う。	秋田県立大学
特別賞	5	伝播する待合所	河原 大樹	そのまま建つのではないかといった具体性があり、審査員からの評価が高かった。完成度も他の作品に比べて高いが、コンクールのテーマである「夢」の観点で、もう少し違うアイデアがあると良かった。 例えば、実際に造られ、伝播した表現があれば、より面白さが伝わった可能性がある。	秋田県立大学
佳作	6	まちの中の森小屋	齋藤 光紀	木材を使う、現実的に造れそうという点で良いと思う。	秋田県立大学
佳作	11	里山の駅-森の居場所作りから林業まで-	田口 径	中山間地域には、なかなか人が来ない。住宅が集合しないところにこのような建物があれば、面白いと思う。	秋田県立大学
佳作	14	MOKUIKUぱーく-木で遊び、木に学び、木で育つ-	布谷 理乃	秋田犬や曲げわっぱ、木のおもちゃなど、現実的な取組として良いと思う。 今、若い方が「木育」に興味を持っており、テーマ性もあって良いと思う。	秋田県立大学
佳作	15	曲げわっぱ美術館 wappa	畠山 日南	曲げわっぱをテーマにしている面白と思う。 建築材料として、CLTを使用するよりは、円筒LVLの方が、より現実味が出たかもしれない。	秋田県立大学